W1

# Google Workspace と Google One の違い

個人・家族向けと、仕事向け。3種類のアカウント、違いの一覧（資料室RAGを含む）、個人アカウントで仕事を続けると起きること、どちらを選ぶか

更新日：2026-10-03（2026年10月時点の情報）｜HUMAC 伊藤晴通

**Google One は「自宅の物置」、Google Workspace は「管理人つきの事務所」**

同じ「Google」でも、**個人で使うもの**と**仕事で使うもの**は、作りが違う。Google One は、写真や書類をしまう**個人・家族向けの保管場所**。Google Workspace は、会社・団体・個人事業主の**仕事のための事務所**で、独自のメールアドレス、管理者による管理、組織のデータ保護が付く。

この資料では、3つの違いをはっきりさせる。そのうえで、**「自分の仕事に、Workspace は必要か」**を判断できるようにする。

## 1. 「Googleのアカウント」は、3種類ある

### ① 個人のGoogleアカウント

誰でも無料で作れる。Gmail（〇〇@gmail.com）、ドライブ、フォトなど。保存容量は、Gmail・ドライブ・フォトを合わせて**15GB**。

### ② Google One

個人のアカウントに、**保存容量やAI機能を足す、有料の個人向けプラン**。最大5人で、容量を共有できる（家族向け）。

### ③ Google Workspace

**法人・団体・個人事業主向け**。独自ドメインのメール、管理者機能、組織のデータ保護。ユーザーごとに月額。

## 2. 違いの一覧

| 観点 | 個人のアカウント／Google One | Google Workspace |
|---|---|---|
| **想定する使い方** | プライベート・家族 | 仕事（会社・団体・個人事業主） |

| 観点 | 個人のアカウント／Google One | Google Workspace |
|---|---|---|
| **メールアドレス** | ○○@gmail.com で固定 | **独自ドメイン**（○○@自社名.co.jp など） |
| **料金** | 無料／Basic 月290円（100GB）／Google AI Plus・Pro など（Google Oneのページの表示） | ユーザーごとに月額（Starter 800円〜、税別。→ W2） |
| **保存容量** | 無料15GB。有料プランで100GB〜5TB（最大5人で共有） | プランにより、**1ユーザーあたり30GB〜5TB** |
| **管理者による管理** | なし（本人がすべて管理する） | **管理コンソール**で、ユーザーの追加・停止、権限、セキュリティ設定を一括管理 |
| **データの持ち主** | 個人 | **組織**（退職者のデータも、組織に残せる） |
| **会社の資料を、AIの根拠にする（RAG）** | 個人のドライブの資料を、個人で使う形になる | **共有ドライブの資料を、全員で共有して、権限のとおりに使える**。ドライブを直すと、AIの資料も自動で更新（→ W2） |
| **AI（Gemini）に入力した内容** | 設定により、会話が改善に使われ、人の確認に回ることがある（設定で管理） | **学習には使われず、顧客の許可なく人が確認することもない**（Google の公式説明。→ W2） |
| **Meet（会議）の参加人数** | — | プランにより100〜1,000人（→ W2） |

個人アカウントとWorkspaceの管理・データの所有に関する違いは、販売パートナー各社の解説にも共通する内容。契約前に、Google の公式の説明で確認すること（出典欄）。

## 3. 個人のアカウントで仕事を続けると、起きること

| 場面 | 起きること |
|---|---|
| **従業員が辞めた** | 仕事のメール・資料が、**本人の個人アカウントに残る**。組織で回収できない |
| **誰かがパスワードを忘れた・乗っ取られた** | 組織としては、止める・リセットする手段がない |

| 場面 | 起きること |
| --- | --- |
| **取引先に、メールを送る** | 「@gmail.com」では、会社の信頼感や、なりすまし対策の面で、不利になりやすい |
| **AIを使う** | 入力した内容の扱いが、個人の設定に任される。**お客様の情報を入れてよいか、組織として保証できない**（→ D1） |
| **複数人で資料を共有する** | 個人のドライブ同士の共有になり、持ち主が抜けると、資料が消えたり、見えなくなったりする |

## 4. あなたは、どちらを選ぶ？

1
**Q1 仕事でお客様とメールをする？**
はい → 独自ドメインのメールが要る → Workspace

2
**Q2 2人以上で、資料を共有する？**
はい → 管理と共有の仕組みが要る → Workspace

3
**Q3 AIに、仕事の情報を入れる？**
はい → 組織としてのデータ保護が要る → Workspace

4
**Q4 全部「いいえ」？**
写真・個人の書類の保管だけなら、Google One で足りる

**目安**

- **Google One で足りる**：プライベートの写真・書類の保管、家族との共有。
- **Workspace が向く**：**1人でも**、お客様とやりとりする個人事業主は、独自ドメインと組織としてのデータ保護の利点がある。従業員がいる、または、資料を共有する組織は、ほぼ、Workspace。

## 5. Workspace に含まれる主なもの

| サービス | ひとことで |
| --- | --- |
| **Gmail** | 独自ドメインのメール |
| **ドライブ** | 資料の保管と共有。組織の共有ドライブも使える |
| **ドキュメント・スプレッドシート・スライド** | 文書・表・資料を、複数人で同時に編集 |
| **Meet** | オンライン会議（人数の上限はプランにより異なる） |
| **カレンダー・チャット** | 予定の共有、社内の連絡 |

| サービス | ひとことで |
| --- | --- |
| **Gemini・Gemini Notebook** | AIの相談相手と、資料を根拠に答える司書。**共有ドライブの資料を土台に、会社の「資料室」（RAG）になる**（→ W2の5章、B1b） |
| **管理コンソール** | ユーザーの追加・停止、セキュリティ設定（2段階認証など）、AIのオン・オフ |

## 関連資料

- W2 Google Workspaceのプランと、AI・情報の守り方
- W3 導入の進め方と、お申し込み（ご紹介）
- A2 無料版・有料版・組織契約の違い／D1 信号機ルール

---

出典（2026年10月確認）

- Google One プランと料金（Google） (https://one.google.com/about/plans?hl=ja)：無料15GB、Basic、Google AI Plus・Pro、最大5人で共有
- Google Workspace 料金（Google） (https://workspace.google.com/intl/ja/pricing.html)：プラン、ストレージ、Meetの参加人数
- Generative AI in Google Workspace Privacy Hub（Google） (https://knowledge.workspace.google.com/admin/generative-ai/generative-ai-in-google-workspace-privacy-hub)：Geminiのデータの扱い
- Google Workspace と個人向け Google サービスとの違い（販売パートナー） (https://www.g-workspace.jp/comparison-googleworkspace-gmailcom/)（独自ドメイン・管理者機能・データの所有）
- 個人用のGoogleアカウントとGoogle Workspaceの違い（KDDIウェブコミュニケーションズ） (https://academy.kddi-web.com/beginner/google-account-comparison)（二次情報）